

NICE SMILE

2016
春
VOL.65

地方独立行政法人 りんくう総合医療センター●院外・院内広報

発行・責任者：広報・年報編集委員長 森朝 紀文 / 〒598-8577 大阪府泉佐野市りんくう往来北2番地の23 TEL072-469-3111(代) FAX072-469-7929
http://www.rgmc.izumisano.osaka.jp/



「花の谷」写真家 尾崎 真一氏(阪南市在住)

ご挨拶



新年度を迎えるにあたって

りんくう総合医療センター 病院長 山下 静也

新緑がまぶしい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。日頃は当院との地域医療連携に対して深いご理解とご協力を賜り、有り難うございます。厚く御礼申し上げます。

昨年8月より病院長を拝命致し、はや9ヶ月が経ちました。この間、病院のシステム整備と職員の意識改革、病院食の充実、学術・研究活動の推進を焦点にして、改革を行ってきました。当センターとしては5年間の中期計画の最終年度を終え、年度末には新たな5年間の中期計画を策定し、地域医療に如何に病院として貢献できるかについての具体策を病院職員が一丸となって実行しようとしております。本年4月からは2年に1度の診療報酬改定が行われ、その対応が迫られているところですが、当院はこの泉州地域における中核病院として、地域の先生方と連携しながら超急性期医療から在宅医療・介護まで切れ目のない、地域完結型医療の実現に注力して参る所存です。

一方、当地域は以前から病診連携・病病連携が緊密に行われてきた地域ですが、当院では消化器内科や眼科等の診療科の常勤医師の欠員により、全ての病態に対応できるわけではないという現実的課題がありました。幸いにも、3月末から当院の消化器内科の常勤医として大西亨消化器内科部長が赴任し、さらに4月からは内分泌代謝内科に榎根晋部長、高井研次医師が赴任し、今後は内科系科の活性化が大いに期待できると考えます。今後は更に消化器内科、眼科、放射線科等の医師の確保に努めて、できる限り早急に充実した診療体制の整備を行い、幅広い紹介患者様の受け入れが可能となるよう努めて参ります。

今後も地域包括ケア体制の実施に向けて、地域医療の連携がより一層重視される中、本年度も引き続き先生方のご理解と、当院へのご指導ご鞭撻の程、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

CONTENTS

表紙写真 / 「新年度を迎えるにあたって」病院長 山下 静也	1	連携施設紹介「木村医院」「くるみ薬局」	5
理事長メッセージ / 新入職員紹介 / 新入職員歓迎会	2・3	選定療養費の金額が変更になります /	6
部署紹介「がん治療センター」「薬剤科」	4	第9回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会 /	
		りんくう市民フォーラム / 編集後記 / 人権標語	

理事長メッセージ

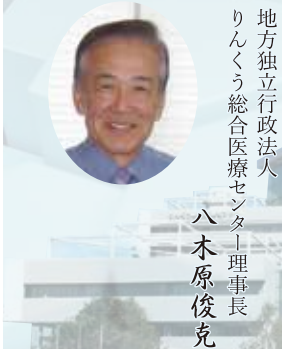
平成28年度の展望
～変化の時代へ～

当センターは平成23年4月に独立行政法人化し、本年3月末で第1期の5年間の経過しました。この間、初年度に電子カルテ導入、院内保育所の開設を行い、次年度に入念な準備作業を行った上で、翌年度初頭に大阪府立泉州救命救急センターを大阪府から移管・統合し、新体制の急性期病院として再出発しました。さらに、平成26年度に「なすびネットワーク」を運用開始し、泉州南部シミュレーションセンター「ザンウイズ」を有する「りんくう研修棟」を開設しました。この経緯の中で当センターは大きな成長を遂げ、平成28年度から第2期目に入ったところで、

この節目の時期の中期的展望として、少子高齢化の進行により医療・福祉を取り巻く環境が変化中、その加速度が年々高まっていると感じます。同時に、近年におけるITCの急速な進歩と共に、科学・医学の進歩も加速度を増し、医薬・医療機器の開発に急速なイノベーションの進展が見られ、さらに専門医制度や看護師の特定行為等々、医療提供体制についても大きく変貌する中、地域包括ケア体制の構築に向けて地域医療構想が立ち上がりつつあります。2025年

まであと9年、医療そのものも、医療体制も、マネジメントも、大きなイノベーションが求められる「変化の時代」の真つただ中にいると、実感させられます。

変化の時代に思い出すべき孔子の言葉に「温故知新」があり、「旧きを温め、新しきを知る」と解釈されています。類似の言葉として松尾芭蕉の「不易流行」があり、「不易」は変えてはいけぬもの、「流行」は変えていかなければならないもの、という理解をすると、果たして何を堅持し、何をどう変えてゆくべきかを検討する必要があります。泉州南部地域は昔から問題がある時は長老が独断で決めるのではなく、車座になって皆で検討して決める風習があると司馬遼太郎は述べています。この伝統が従来からこの地域で積極的に地域連携を促進してきた理由とも推測でき、この時期にこの地域で、連携と協働、そして「大同団結」という概念をイメージしています。今後とも、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。



地方独立行政法人
りんくう総合医療センター理事長
八木原 俊克

新入職員紹介

医師

- ①抱負
- ②趣味(休日の過ごし方)

消化器内科

■大西 亨(部長)

- ①ウイルス慢性肝炎を中心に消化器疾患の診療に努めます。
- ②大型自動二輪、一級船舶、等免許は持っています。

内分泌代謝内科

■榎根 晋(部長)

- ①市民の皆さまが健康で幸せな生活を送れるよう頑張つてまいりたいと思ひます。
- ②釣り、ゴルフ、模型製作、パークラフト

高井 研次

- ①きめ細かい医療を提供できる様、頑張ります。
- ②ドライブ、家族サービス

循環器内科

■中谷 佳裕(副医長)

- ①早くなじめるように頑張ります。
- ②読書、自宅でゆっくりすごしています。

外科

■島野 尚典(医長)

- ①泉州は初めての土地ですが、地域医療に少しでも貢献できるように頑張ります。
- ②子供と遊ぶ。

■梶原 淳(医長)

- ①何かあればご連絡下さい。
- ②趣味・自転車、筋トレ、音楽 休日の過ごし方・休日があればまったり

■高橋 亜由美

- ①1日1日を大切に精進します。
- ②音楽鑑賞、ダンス、美味しいものを食べる

脳神経外科

■梶田 宏輔(医長)

- ①この病院で学べることを一杯学びたいと思ひます。
- ②外出はあまりせず、家の中で過ごすことが多いです。

■伊藤 弘

- ①この病院で学べないことを一杯一杯学べるように頑張ります。
- ②野球観戦

整形外科

■五島 篤史

- ①患者さんの立場にたった医療を提供できるように頑張らせて頂きます。
- ②主に読書をして過ごしています。

泌尿器科

■藤井 令央奈(医長)

- ①患者さんの立場にたった医療を提供できるように頑張らせて頂きます。
- ②主に読書をして過ごしています。

■小池 宏幸

- ①精一杯頑張ります。
- ②ゴルフ、読書、サーフィンやってみました。

小児科

■三原 聖子(副医長)

- ①6年ぶりに再びお世話になります。以前のようにフレッシュな気持ちで頑張ります。
- ②趣味・絵画鑑賞 休日の過ごし方・家でんびり

■山本 真也

- ①がんばります。よろしくお願ひします。
- ②ゆつくりすごしています。

産婦人科

■栗谷 佳宏

- ①ご指導よろしくお願ひいたします。
- ②ラグビー観戦

歯科口腔外科

■高須 彩子

- ①初めて大学の外に出てきました。パワーアップするべく頑張りますので、よろしくお願ひします。
- ②映画鑑賞、ドライブが趣味です。泉佐野散策したいと思ひます。



救命診療科

- 切詰 和孝(副院長)
 - ①先輩方と一緒に1人でも多くの患者さんを救えるように頑張ります。
 - ②音楽鑑賞
- 松浦 誠
 - ①精一杯頑張ります。
 - ②子育て

- 田中 久美子
 - ①初めての土地で緊張していますが、少しでも早く馴染んで仕事できればと思います。ご指導お願いします。
 - ②Huluで映画を見る。

- 根本 大資
 - ①明るく、笑顔で、元気をモットーに診療をしていきたいと思えます。宜しくお願いします。
 - ②旅行、ダイビング、BBQ、キャンプなど

- 研修医 小野 恵
 - ①一生懸命がんばります！よろしくお願ひします。
 - ②趣味：ゴルフ、秘境への旅行、お笑いを見ること、F1観戦。

- 大井 和哉
 - ①社会人としての一步をこの病院で踏み出せることがとても嬉しいです！精一杯頑張ります。
 - ②最近ゴルフにはまっています。是非、一緒にラ

ウンドして下さい。

- 島中 寿実
 - ①新しい環境で不安もありますが一生懸命頑張りたいと思ひます。よろしくお願ひします。
 - ②趣味：犬の散歩

- 中上 勝一朗
 - ①責任感をもって、しっかりと元気に頑張りたいと思ひます。
 - ②漫画を読む、ラグビー、筋トレ

- 谷口 翠
 - ①6年ぶりに地元に戻ってきました。一生懸命頑張るので、よろしくお願ひします。
 - ②読書、体を動かす。

- 柿澤 佑実
 - ①心臓血管外科医として一人前になれるよう、頑張りたいです。未熟者ではありますが、どうぞよろしくお願ひ致します。
 - ②寝る、料理、ポケモン、旅行。大学時代はサブゲーやコミケにいった事のある軽度のおタクです。

- 寺山 英作
 - ①分からないことばかりですが、誠心誠意、努力します。よろしくお願ひします。
 - ②ピアノ、ジョギングなど

- 蓮池 智子
 - ①笑顔でハキハキがんばります。よろしくお願ひいたします。
 - ②趣味：読書・食べ歩き 休日の過ごし方：ショッピング

助産師・看護師

中央手術室

- 今井 果菜
- 延生 麻希
- 辻川 早苗
- 細川美優希

外来

- 小安 明子

ICU/CCU病棟

- 田中なつみ
- 中村侑里香
- 中村 亮
- 廣瀬 華子

5階海側病棟

- 打田 茜
- 浦井 真奈
- 岡田 稚菜
- 小林 拓矢
- 田淵 歩
- 西城戸夏生
- 檜垣 一哉

6階海側病棟

- 禱 七海
- 畑中 千穂

NICU/GCU病棟

- 上道 有紗

6階山側病棟

- 射手矢奈津子
- 竹田 亜柚
- 藤田百合恵

7階海側病棟

- 吉村 陽子
- 土井智恵子
- 池田 果歩
- 鈴木 香穂
- 中塚由圭里

7階山側病棟

- 池田 悠美
- 徳永 理沙

8階海側病棟

- 黒田 幸佳
- 永山 茉林
- 平山 千裕
- 若林 真由

8階山側病棟

- 田中 星
- 岸脇 奈美
- 森 直子

救命ICU

- 森田世詩絵
- 岡田 夏織
- 岸本 愛美
- 栗原 美咲
- 永井 彩加
- 平野 早織
- 山本 英直
- 中原 志乃
- 新川 大志

看護助手

看護管理室

- 小林 綾香
- 藤原 由香
- 下中あゆみ
- 川辺 芹菜
- 備中 俊貴
- 樫元 允良
- 谷川 直也

医療技術員

放射線技術科

(診療放射線技師)

検査科

(臨床検査技師)

リハビリテーション科

(理学療法士)

(作業療法士)

(言語聴覚士)

武部 優華

味岡 美貴

石野 結衣

中村 香織

有倉 和宏

野瀬 寛人

事務員

総務部兼総務課

川崎 弘二(部長)

会計課施設担当

黒沼 善和(主査)

医療マネジメント課

矢崎紗規子

唐澤 博子

本多 美咲

(医師事務作業補助者)

三浦飛奈乃

新入職員歓迎会を開催しました

りんくう総合医療センターは、この4月に約100名の新入職員を迎えました。

当センターでは、新入職員の皆さんと親睦を深めるため、毎年新入職員歓迎会を開催しています。

今年も4月8日に開催いたしました。

歓迎会では、当センターオリジナルの部署紹介ビデオが上映され、各部署からのユーモアを交えたメッセージに、笑顔が溢れていました。たくさんの職員が参加し、新入職員の皆さんと交流を持つことができました。

今後とも職員一同、よりよい病院を目指し邁進いたしますので、よろしくお願いいたします。



がん治療センター

診療局次長兼がん治療センター長兼
外科主任部長兼医療安全管理室長 位藤 俊一

部署紹介
①

▼がん治療センター



▲がん治療検討委員会

がん治療センターとしては、薬物療法における新規レジメンの検討、承認や緩和ケアチームの活動等の検討を行う『がん治療検討委員会』を毎月開催するとともに悪性腫瘍の診断、治療方針決定等に關するカンササーボードを開催しています。放射線科、放射線治療科、外科、血液内科、肺腫瘍内科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、口腔外科をはじめ、がんの診断、治療を専門とする診療科だけでなく、がん専門看護師、リハビリテーション科、理学療法チーム、栄養チームや、相談支援センターが丸となって、診断や治療方針決定に難渋する症例等で様々な側面からアプローチできる体制を構築しています。

さらに2016年2月からは、がん薬物療法検討小委員会が組織され、最新の薬物療法マニュアルを改訂作成中です。緩和ケアチームでは心療内科医を含む多職種が参加することにより、がん性疼痛の緩和や不安等心理的な側面へのサポートを適切に行っています。がんと診断されたときから緩和チームが介入することにより予後が改善するとのデータをもとに、緩和ケアチームの早期介入を目指しています。今年度からはがん化学療法看護認定看護師やがん性疼痛看護認定看護師が平日毎日がん患者さんの訴えや疑問点等をお聞きするとともに、医師の説明に立ち会い、患者さんの理解を深めるようサポートしています。

※大阪府がん診療拠点病院



この制度は、専門的ながん診療機能の充実と、がん医療水準の向上を図ることを目的に大阪府が新たに創設した制度で、当院のこれまでの診療実績や診療体制、診療機能等が評価されたものです。

また、当院は大阪府より「大阪府がん診療拠点病院」※に指定されており、地域住民の皆様に対して、これからも「がん診療」の一層の充実を図ってまいりますので、何卒よろしくお願いたします。

薬 剤 科

薬剤科次長 出山 恭隆

部署紹介
②



薬剤科スタッフ

薬剤科では現在27名の薬剤師が勤務しており、内服薬や外用剤の調剤、注射剤の払い出し、抗がん剤や注射剤のミキシング等の業務を行っています。特に抗がん剤においては、取り扱いにも注意が必要で、投与量や投与間隔を間違えると重大な副作用等が出現する恐れがありますので、プロトコールに基づきレジメンの監査にも最新の注意を払っています。病棟においては患者さんに薬剤の説明を行うのはもちろんのこと、医師や看護師に対しても薬剤の情報提供を行っています。一部の抗菌剤においてはTDM(血中薬物濃度モニタリング)といった、薬物投与量の計算を行い、適切な薬物濃度を

で投与されているかをモニターする業務も行っています。また、感染症ラウンド、褥瘡回診、NST回診、PST回診、生活習慣病教室等で薬学的な面からサポートすることでチーム医療の一端を担っています。医薬分業が進み、薬学のプロフェッショナルとしてチーム医療に加わり、様々な医療の現場に携わるようになり、医師や看護師と同様に疾病に対する専門的な立場となる薬剤師が求められています。専門薬剤師や認定薬剤師といった資格の取得を今以上に力を入れていきたいと思っています。

薬剤に対してのきめ細やかな情報提供を行ってまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いたします。





りんくう医療ネットワーク 連携施設の先生のご紹介

連携施設の先生をご紹介しますコーナーです。
当院では、「かかりつけ医」と連携し、地域ぐるみで質の高い医療サービスを推進しています。

木村 医院

院長 木村 文雄



【所在地】泉南市樽井2-12-3
【TEL】072-482-2220 【FAX】072-482-2666
【診療科目】内科、消化器内科、漢方内科
【受付時間】(午前)8:15~12:30 (午後)15:45~18:00

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	×
午後	○	○	○	×	○	×	×

泉南市樽井で開業しています木村医院の木村です。出身は和歌山県海南市です。徳島大学を卒業してからは、和歌山医大に入局、昭和60年からは近隣の済生会泉南病院で院長として勤務していました。泉南病院の移転を機に、平成14年4月に現在地に開業いたしました。前職から数えると、この地ではや30年になります。自宅兼診療所で地域に密着した生活を送っております。

当院は内科、消化器内科、漢方内科を標榜し、上部内視鏡検査、心電図検査、レントゲン検査、腹部超音波検査を実施しております。専門は消化器疾患全般ですが、どんな疾患にも対応しています。消化器疾患以外にも、禁煙・睡眠・肥満・頭痛などの専門外来も診療提供しております。また、各種の健診・予防接種も実施していますので、いつでもお気軽にご相談ください。また、地域のかかりつけ医として、当院かか

りつけ患者様の在宅診療にも対応しております。

泉佐野泉南医師会の理事としては、予防接種、学校保健の担当をしています。

私の趣味は、ジャズを聴くこと、温泉でのんびりすることです。

りんくう総合医療センターには、いざというときに何でも対応してもらえる体制を構築していただきたいと期待しています。今後も、地域の基幹病院として、さらなるご発展を祈念いたしております。



くるみ薬局

薬剤師 八田 守也



【所在地】阪南市箱作3505-4
【TEL】072-476-2482 【FAX】072-476-2483
【受付時間】(平日)9:00~20:00 (土曜日)9:00~13:00

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	×
午後	○	○	○	○	○	×	×

阪南市箱作で開局していますくるみ薬局です。個性的な薬剤師が4人在籍し、日々、地域の皆さまの健康向上に貢献できるようがんばっています。

薬学生実務実習の受け入れ、学校薬剤師、市民講演などを積極的に行っています。

阪南市民病院との病薬連携においては退院時カンファレンスに参加したり、近隣の医師、訪問看護師、ケアマネジャーなどと連携して在宅医療にも取り組んでいます。配薬や服薬支援を行うのみでなく、薬の効果や副作用を自ら確認して、医師と連携し最適な薬物治療を実践していく薬局でありつづけることを目指しています。

また、OTC医薬品、漢方、サプリメント、生活習慣や食習慣の改善等々その方に合った方法での健康のお手伝いをさせていただきます、多くの方がセルフメディケーションを実践される

よう取り組んでいます。

これからも、りんくう総合医療センターをはじめ地域の先生方にご指導いただきながら、より一層地域医療に貢献し、気軽に相談していただける「まちの薬局」でありたいと考えています。



りんくう総合医療センター外来受診にあたって ～選定療養費の金額が変更になります～

新聞やニュースなどで、「医療連携」や「大病院と診療所の機能分化」という話を聞かれたことがあるかと思います。これは医師や看護師などの医療資源が限られている中で、大病院と地域の診療所の役割分担を明らかにして、しっかりした協力態勢を作り、地域医療を守っていこうというものです。

当院の外来にも、紹介状を持参せずに受診される予約外の患者様がおられますが、予約を取られていない場合は、待ち時間が長くなるだけでなく、診療費に加え選定療養費(※1)をお支払いいただくことになります。

当院を受診される場合は、一旦「かかりつけ医」を受診して紹介状を持参してくださいませようお願いいたします。

☑ 当院では
2016年4月より、
選定療養費の金額が
4,320円になります。

※1 初診時選定療養費とは、200床以上の病院で紹介状なしの初診の場合にかかる費用です。
当病院は200床以上の病院です。

二人の主治医 (専門医とかかりつけ医) を持ちましょう

りんくう総合医療センターでは「かかりつけ医」と連携協力し、地域ぐるみでの質の高い医療サービスの提供を推進しています。

★かかりつけ医を持ちましょう！

「かかりつけ医」とは、患者さまの身近なところで、日常的な診療をしてくれる、健康相談にのってくれる、必要な時は適切な医療機関や専門医を紹介してくれる、そんなお医者さんのことです。

病気や健康のことについて、いつでも何でも、まず最初に相談できるお医者さんがあなたの「かかりつけ医」です。

「かかりつけ医」には、きめ細かな対応をしてもらいやすい一般病院や診療所やクリニック(規模の小さな病院)が適していると言えるでしょう。



りんくう市民フォーラム ～JAZZも楽しめる、市民講座～



平成28年4月2日(土)、りんくう教育研修棟にて「りんくう市民フォーラム」を開催いたしました。(主催:りんくう総合医療センター、一般社団法人らふ、共催:泉佐野市)

産婦人科の荻田部長がTBSドラマ「コウノドリ」のモデルになったことで、地域住民の方々の関心も高く、約300名もの方々

にご参加いただきました。当日は、荻田先生のJAZZピアノ演奏も楽しんでいただきました。

テーマの『出産・妊娠から在宅医療まで』を中心に、地域住民の皆様への今の医療の現状を知っていただく良いきっかけになったと思います。ご参加いただいた皆様、ありがとうございます。



© 講談社

編集後記

編集委員(放射線技術科長) 小西 康彦

桜満開の折、今年も約100名の方々が新しく当院の職員となりました。当院は平成9年10月にりんくうタウンに移転しましたが、その翌年の新入職員は約25名だったそうです。移転からもうじき20年ですが、看護基準の見直し、救命との一体化、チーム医療の充実などにより新入職員数は約4倍に増えたことになります。

さて、日本で20歳といえば成人にあたります。建物の外観は当時と変わりませんが、当院の提供している医療レベルはこの20年間で格段に進歩しています。救命救急、感染症、国際診療、地域医療支援やチーム医療の実践など対応してきた部分と、院内の改修工事が必要で対応できていない最新の心臓治療など今後の課題となる部分もあります。地域の中核病院としての役割を果たすため、課題に向けこれからも努力していきたいと思っております。

第9回 日本医療マネジメント学会 大阪支部学術集会



第9回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会が、当院の八木原理事長が会長となり、平成28年2月27日(土)、大阪国際交流センターにおいて開催されました。

昨年2月に「つなげる医療ネットワークとチームマネジメント」とテーマ設定をしてから、特別講演等の講師依頼、一般演題募集、寄付金集め、申込みの受付や参加費の徴収、当日の対応まで、準備から開催までほぼ1年間をかけた病院を挙げての大きな取り組みでした。

開催当日は、インフルエンザの流行時期と重なり、一般口演が1題中止にせざるを得ない状況もありましたが、その他はスケジュールどおり進み、事前登録443名、当日参加232名、当院職員、応援スタッフも含めて約800名を超える参加者のもと、無事成功裏に終えることができました。

後日、ある先生から受付のスタッフの方にも親切にしていた、大変喜んでおられたとお褒めの言葉もいただくなど、当院職員の「団結の力」を見ることができた貴重な経験であったと思います。準備、運営に携わっていただいた皆様方お疲れ様でした。そして有難うございました。



事務局次長 藤原 正則

人権標語 人権はみんなが持つもの 守るもの